

発表項目 (行事名)	台風第17号への警戒について		
記者レクチャー のお知らせ		発表者	
		発表場所	
概要	<p>○ 札幌管区気象台によると、道内では9月23日(月)昼頃から24日(火)にかけて、広い範囲で暴風となり、海は大しけとなる見込みで警戒が必要とされています。</p> <p>○ 道では、暴風に係る住民向けの啓発用資料として、別紙の『台風(暴風)への備え』を作成し、各振興局や市町村に情報提供しています。</p> <p>○ 各報道機関におかれましては、この資料の内容など被害防止に係る注意喚起について、積極的に報道されるようご協力をよろしくお願ひします。</p>		
参考	別紙『台風(暴風)への備え』		

報道(取材)に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課 担当者：千葉 TEL 011-204-5008 (内線22-583) FAX 011-231-4314
-------------	---

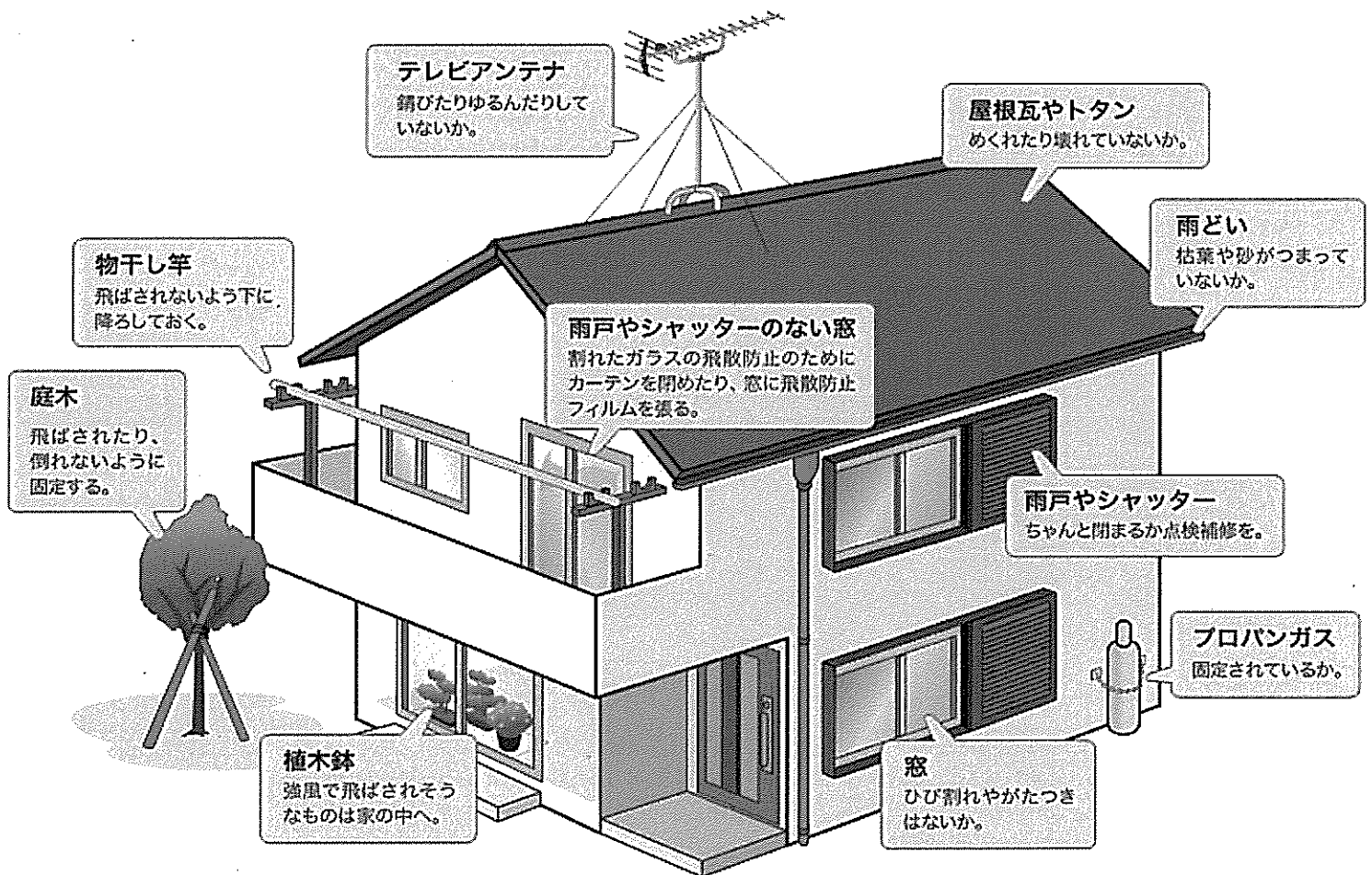
台風（暴風）への備え

台風などの暴風により、さまざまなものが飛んで来たり、倒れたりすることで被害が発生することがあります。暴風になる前に、住宅の周りなどを見直して、飛びやすいものは片付けるなどしましょう。

暴風になると、交通機関がストップするなど、移動が困難になるおそれがありますので、暴風になる前の早めの避難を心がけ、また、暴風のときは不要不急の外出は控えましょう。

さらに、停電・断水になることもありますので、備蓄品も用意しておきましょう。

〈風が強まる前の家の対策〉



【暴風への事前の備え】

- 暴風になる前に早めに避難をする。（あらかじめ避難場所を確認する）
- 家の周囲やベランダに置いてある倒れやすいものなどは固定するか家の中に入れる。（物干し竿、植木鉢、自転車など）
- 窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- 電柱が倒れて停電・断水になることがあるので、備蓄などをしておく。（懐中電灯、携帯ラジオ、非常用トイレ、食料・水などの用意や携帯電話の充電 等）

【暴風になっているときは】

- 看板などの飛散物や転倒による負傷を避けるため、外出はできるだけ控える。
- 窓やシャッターをしっかりと閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。